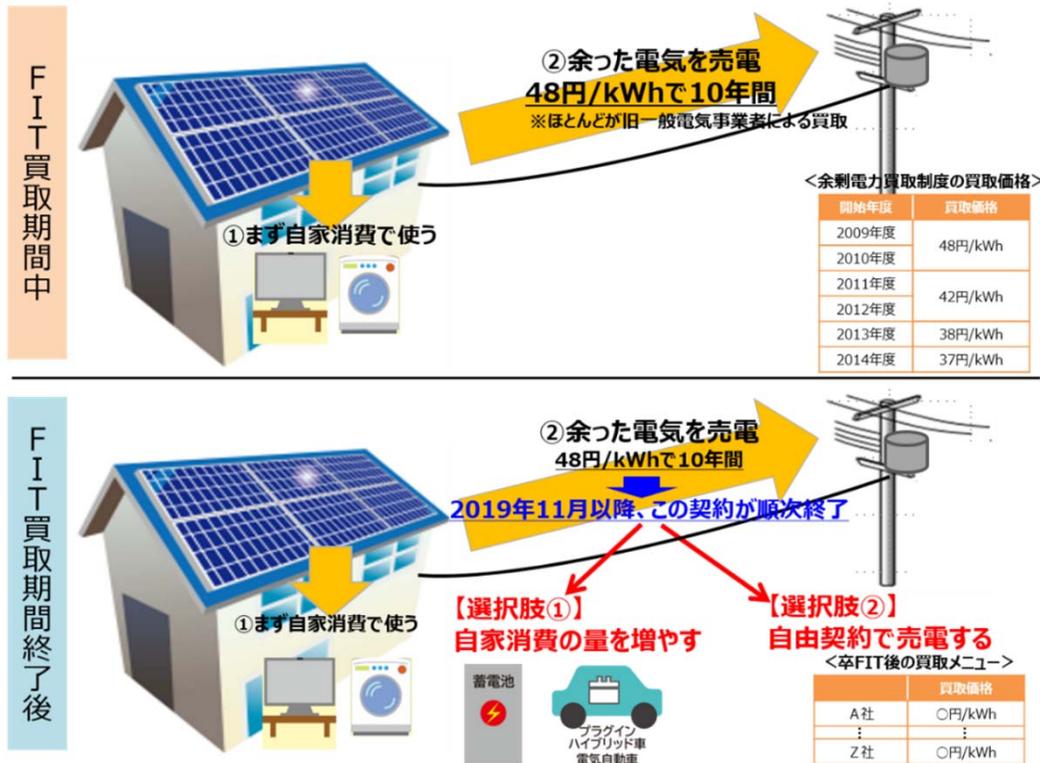


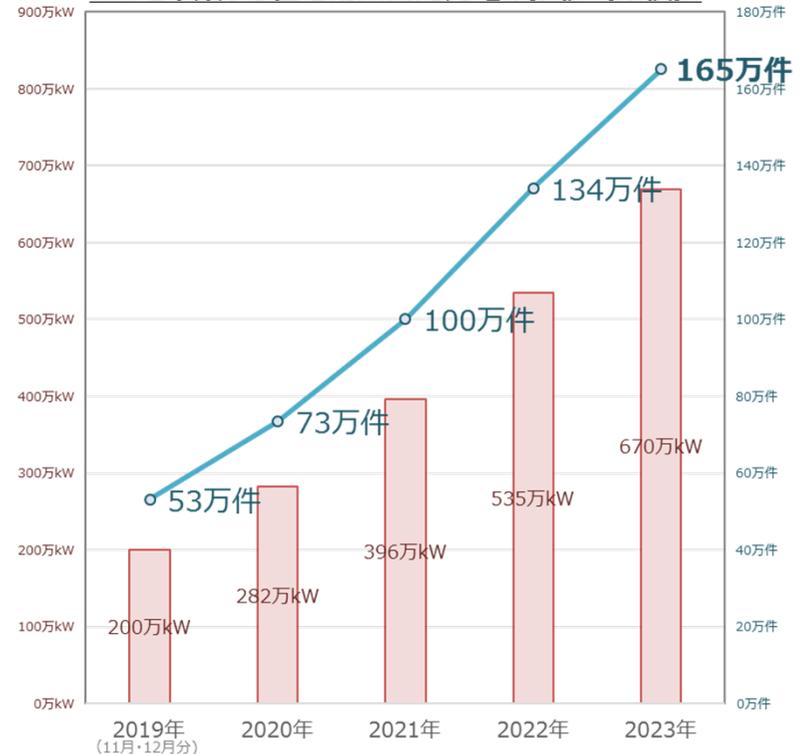
卒FIT太陽光の出現

- 住宅用太陽光は2019年11月以降順次FIT買取期間の終了を迎える案件が発生。
- こうした環境変化は、自家消費型のライフスタイルへの転換を図る契機であるとともに、小売電気事業者やアグリゲーターにとっては、投資回収が済んだ住宅用太陽光発電設備の余剰電力を活用するビジネスチャンスとなる。
- さらに、卒FIT太陽光を契機としたビジネスモデルの出現が先駆けとなることで、将来的には、太陽光発電以外も含めた需給一体モデルの構築や、再エネに対する継続的な新規投資が生まれる事業環境が醸成されていくことが期待される。

FIT買取期間終了後の選択肢



FITを卒業する住宅用太陽光発電の推移（累積）



(出典) 費用負担調整機関への交付金申請情報、設備認定公表データをもとに作成。一部推定値を含む

FIT買取期間終了後の主な買取メニュー（大手電力）

- 大手電力会社の買取メニューについては、経済産業省審議会とりまとめの要請どおり、2018年内に買取メニュー等の発表時期が公表され、そのスケジュールに従って2019年4月から6月までの間に具体的な買取メニューが発表された。

大手電力の買取メニュー

北海道電力	6/27発表	<u>8円/kWh</u> 、 <u>8円+北電ポイント/kWh</u>
東北電力	5/30発表	<u>9円/kWh</u> 、 <u>預かりプラン</u> (電気使用量から差し引き)
東京電力	6/27発表	<u>8.5円/kWh</u> 、 <u>預かりプラン</u> (詳細は後日発表)
中部電力	4/24発表	<u>7~8円/kWh</u> 、 <u>8.1円相当/kWh</u> (Amazonギフト券)、 <u>7円+2WAONポイント/kWh</u>
北陸電力	4/26発表	<u>8円/kWh</u> 、 <u>年間定額プラン</u> (1.5~3.5万円/年)
関西電力	4/22発表	<u>8円/kWh</u>
中国電力	4/23発表	<u>7.15円/kWh</u>
四国電力	4/22発表	<u>7円/kWh</u> 、 <u>預かりプラン</u> (電気使用量から差し引き。150kWh超は8円買取)
九州電力	6/6発表	<u>7円/kWh</u>
沖縄電力	6/3発表	<u>7.5円/kWh</u>

※このほかにも、契約条件等によりカスタマイズされた様々なプランあり。

(出典) 各社HP・プレスリリースより資源エネルギー庁作成

FIT買取期間終了後の主な買取メニュー（新電力）

- 新電力からも特色のある買取メニュー発表が相次いでおり、顧客獲得競争が本格化。

広域型	スマートテック	10円/kWh	東北、関東、中部、近畿、中国、九州エリア
	シェアリングエネルギー	8円/kWh	東北、関東、中部、近畿、中国、九州エリア
	出光昭和シェル	8.5円/kWh (九州エリア以外) 7.5円/kWh (九州エリア)	全国（沖縄除く）
	JXTGエネルギー	10円/kWh	中部、北陸、関西、中国、四国エリア※他エリアは今後発表
地域型	静岡ガス	7 + α円/kWh ※+αは増額分で今後発表	静岡全域、山梨・長野の一部
	東邦ガス	9円/kWh 、 9.5円/kWh (同社サービス利用者)	愛知、岐阜、三重及び周辺地域
	大阪ガス	8.5円/kWh 9~9.5円/kWh (同社サービス利用者)	関西エリア
	サーラグループ	8円相当ポイント/kWh 10円相当ポイント/kWh (同社サービス利用者)	中部エリア
	宮崎電力	8円/kWh 10円/kWh (同社サービス利用者)	宮崎県内
	和歌山電力	8円/kWh 10円/kWh & 11円/kWh (7・8月のみ)	関西エリア
限定型	積水ハウス	11円/kWh	同社の住宅オーナー
	積水化学工業	9円/kWh 12円/kWh (蓄電池あり)	同社の住宅オーナー
	ならコープでんき	10円/kWh 11円/kWh (同社サービス利用者) 11円/kWh (同社サービス利用者 + 再エネ基金参加者)	組合員

※このほかにも、契約条件等によりカスタマイズされた様々なプランあり。

(出典) 各社HP・プレスリリースより資源エネルギー庁作成

卒FITに関する情報提供

- 資源エネルギー庁Webサイト内に、制度に関する情報提供等を行う**専用サイトを設置**。
- **買取期間終了後の選択肢の提示や誤った情報に対する注意喚起**のほか、FIT卒業電源の**買取事業者（サイトへの掲載を希望する事業者）の情報**を一元的に掲載。
- これら先行している卒FIT太陽光のビジネスが、**分散型ビジネスの展開につながるよう環境整備を進めていく**。

専用サイト（どうする？ソーラー）

卒FIT電気の買取事業者の一元化

売電できる事業者

法人名	株式会社CWS
サービスの名称	ならこープでんき余剰電力買取
サービスの概要	固定価格買取終了の家庭用太陽光発電余剰電力を「ならこーぷでんき」が買い取ります。
サービスの提供地域	奈良県
サービスを紹介するURL	https://denki.cwsnara.co.jp/kaitori/
お問い合わせ先	電話番号：0120-577-039

法人名	大阪ガス株式会社
サービスの名称	大阪ガスの太陽光発電余剰電力買取サービス
サービスの概要	ほとんどの「買取プラン」に加え、大阪ガスの電気セットと兼用可能な「電気セットプラン」もご利用。
サービスの提供地域	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
サービスを紹介するURL	http://home.osakagas.co.jp/search_buy/kaitori/index.html
お問い合わせ先	電話番号：0120-000-555

法人名	株式会社スマートテック
サービスの名称	スマートFIT
サービスの概要	最初！最高値！卒FIT太陽光買取契約No.1。再生エネルギー価値向上を目指します！
サービスの提供地域	東京都、千葉県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島

買取期間終了に関する個別通知

- FIT買取期間が終了する対象世帯に対して、買取事業者から、**買取期間終了の時期**や、**買取事業者のスイッチングに当たって必要となる情報**等について、個別に通知文の発出を開始。
- 大手電力からの個別通知には、FIT買取期間終了後の選択肢など**中立的な内容を記載**するとともに、卒FIT後のプランを選択する際の参考情報として、**過去1年間の売電電力量**を情報提供。

経済産業省審議会のとりまとめ内容

- **買取期間が終了する旨の個別通知**を行うことを**現在の全ての買取者に要請**。
- 通知時期は、原則、**各対象者の買取期間終了の6ヶ月前～4ヶ月前**。
- 新たにFIT卒業電源の買取等を希望する事業者と大手電力会社の間**の情報格差の観点から、個別通知の際には競争上の配慮**。
→ 大手電力会社が個別通知で自社の買取メニュー等を提示する場合は、
①買取期間終了時期、②様々な選択肢が存在することや公的な相談窓口の紹介、③買取期間終了後に放置した場合の取扱いなど、**中立的な記載と必ずセット**にすることを求める。

個別通知に記載される主な内容

基本情報

- 契約名義
- 設置場所
- **受電地点特定番号**
- 設備ID
- **買取期間終了時期**
- 発電出力(kW)
- **過去1年間の売電電力量(kWh)**

各種手続き

- FIT買取期間終了後の選択肢の提示
- 買取期間終了後の手続き
- エネ庁情報サイトの案内 等

(参考) 卒FIT太陽光への対応の全体像

- 政府・自治体・買取事業者の対応として、以下の取組を実施。

①政府による広報等	<ul style="list-style-type: none">● 情報提供サイトの設置、新聞・webへの周知広告等● 消費者庁等の関係省庁との連携	
②自治体による対応	<ul style="list-style-type: none">● 卒FIT電源の活用を向け、特色ある取組を実施	
買取事業者の対応	③買取期間終了者への個別通知	<ul style="list-style-type: none">● 全ての対象世帯に買取事業者から個別に通知● 大手電力会社による個別通知は、自社の買取メニューだけでなく中立的な記載と必ずセットにする
	④買取メニュー発表時期 (大手電力のみ)	<ul style="list-style-type: none">● 2019年4月から6月末までに具体的な買取メニュー等を発表 (各社、発表予定時期を既に公表済み)● 契約締結の解禁は、2019年4月以降の買取メニュー等の発表以降
	⑤契約・営業活動の制約 (大手電力のみ)	<ul style="list-style-type: none">● 競争上の地位を利用した営業活動は行わない● 契約の解除を著しく制限する契約は結ばない (例：買取期間終了後1回目の契約においては、違約金を設定しない)